

第3節：今後の仕事や働き方について

アンケート調査の問7以降は、成長や昇進に関する意欲について、またワークライフバランス等について、今後の働き方に関する回答者の考え方を質問している。

まず「今よりも仕事の面で成長したいと思うか」について、図3-1-35にあるように、93.2%が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」というポジティブな回答をしている。これに対して、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」という回答をした人は、6.0%であった。この否定的な回答をした人に理由を一つ選んでもらった結果が図3-1-36にまとめられている。もっとも多かったのは「家庭生活を大切にしたいから」(40.9%)であり、続いて「これ以上は昇進の見込みがないと思うから」(27.9%)であった。また「今の仕事に満足しているから」という回答も15.6%あった。なお複数を選んだ回答については按分した。

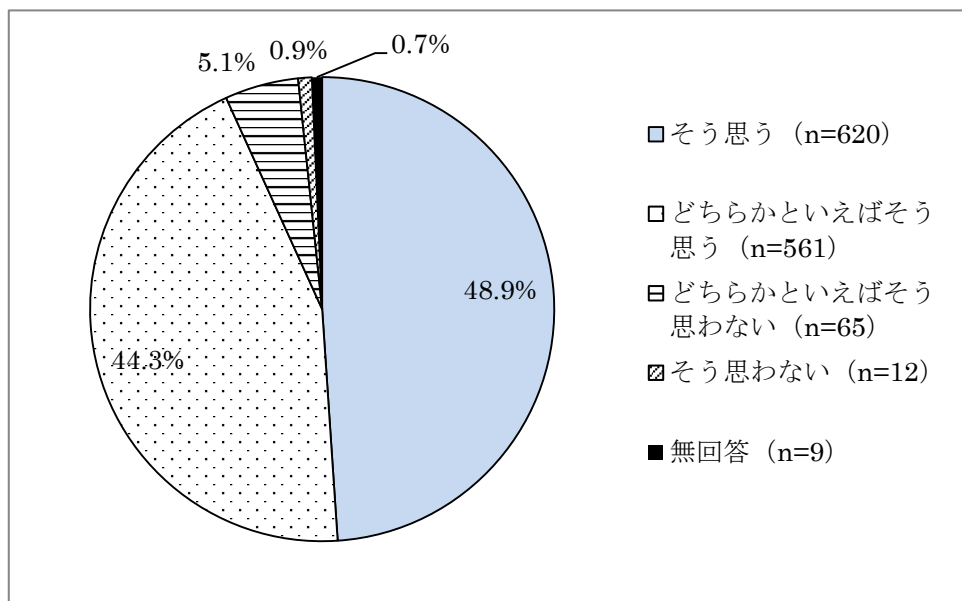


図3-1-35：仕事の面で成長したい

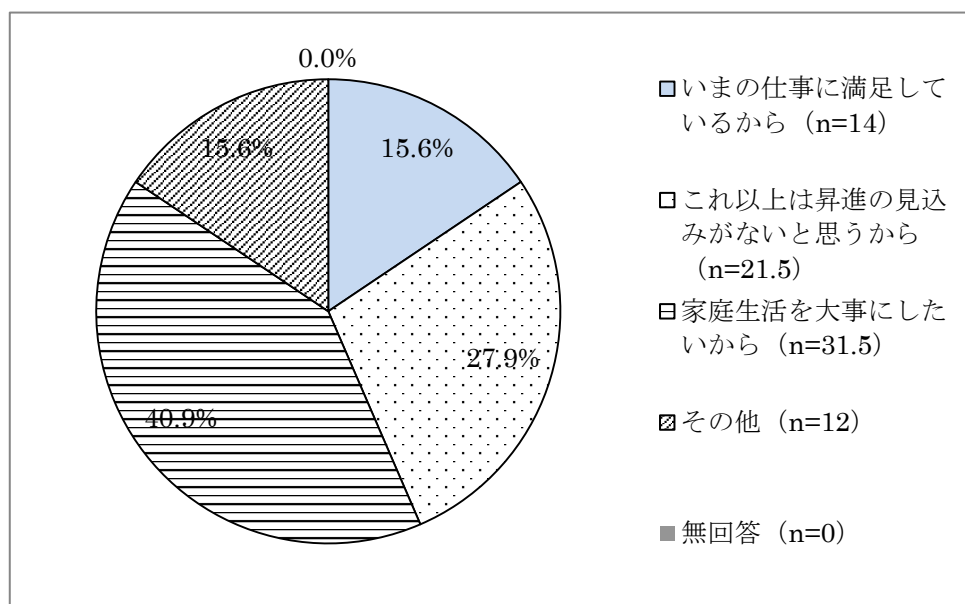


図3-1-36：そう思わない理由

次に「仕事に関して成長するために、自己研鑽のための取り組みを自主的に行っているか」については、図3-1-37のように「行っている」と「どちらかといえば行っている」が59.1%であった。また「今後、今よりも昇進したいと思うか」については、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」というポジティブな回答が図3-1-38のように69.6%であるのに対して、それネガティブな回答は29.5%であった。後者について、その理由を尋ねた結果は、図3-1-39のように多い順に「これ以上は昇進の見込みがないと思うから」(36.9%)、「家庭生活を大切にしたいから」(29.4%)、「今の仕事に満足しているから」(13.4%)となっている。

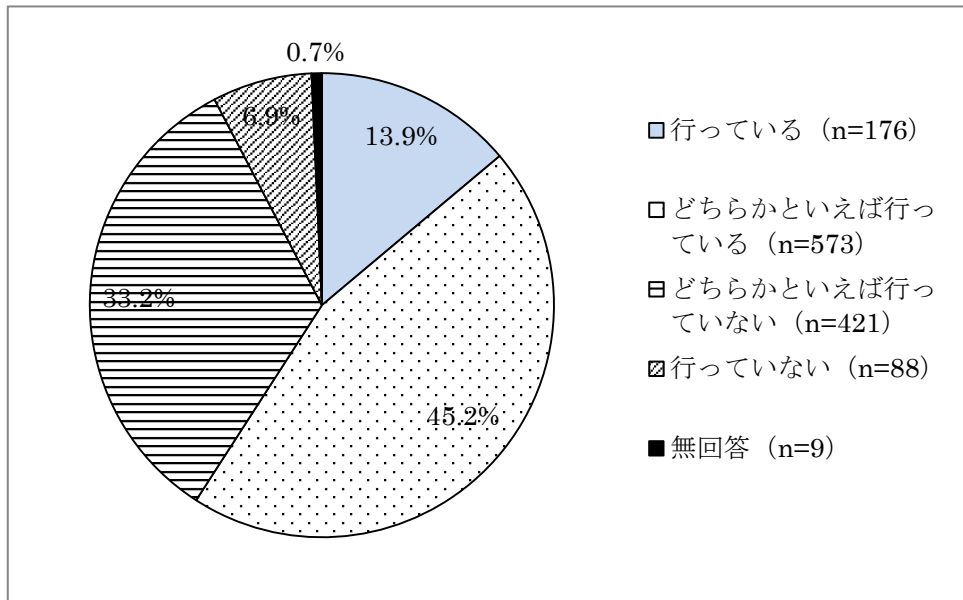


図3-1-37：自己研鑽のための取り組み

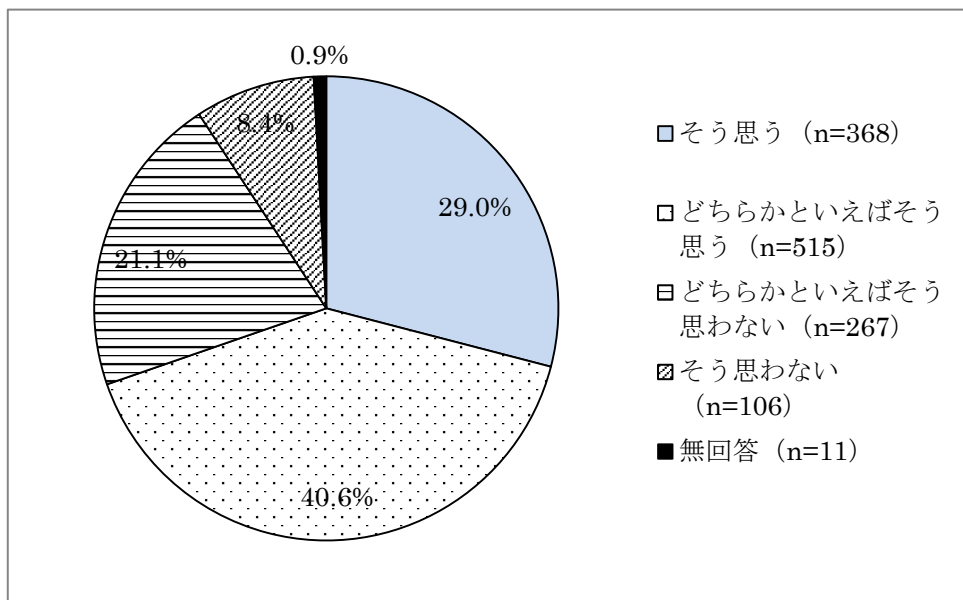


図3-1-38：今よりも昇進したい

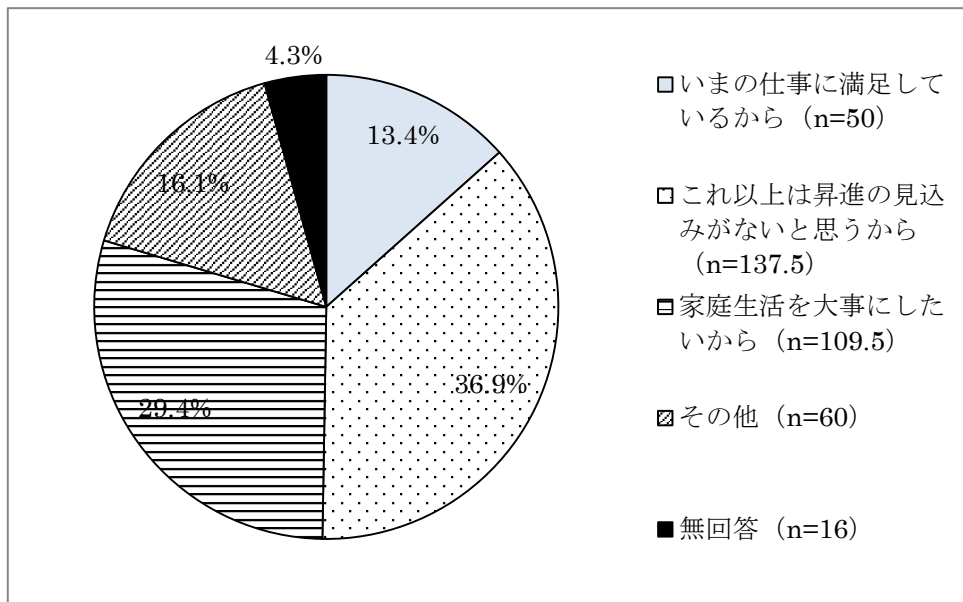


図3-1-39：そう思わない理由

働き方と生活の質に関して、転勤の有無は重要である。そこで質問した「キャリア形成のために、転居をともなう勤務地の変更をすすんで受け入れるか」については、図3-1-40にあるように、ポジティブな回答が45.2%、またネガティブな回答は53.9%となっていて、「すすんで受け入れる」という回答は半数以下であった。

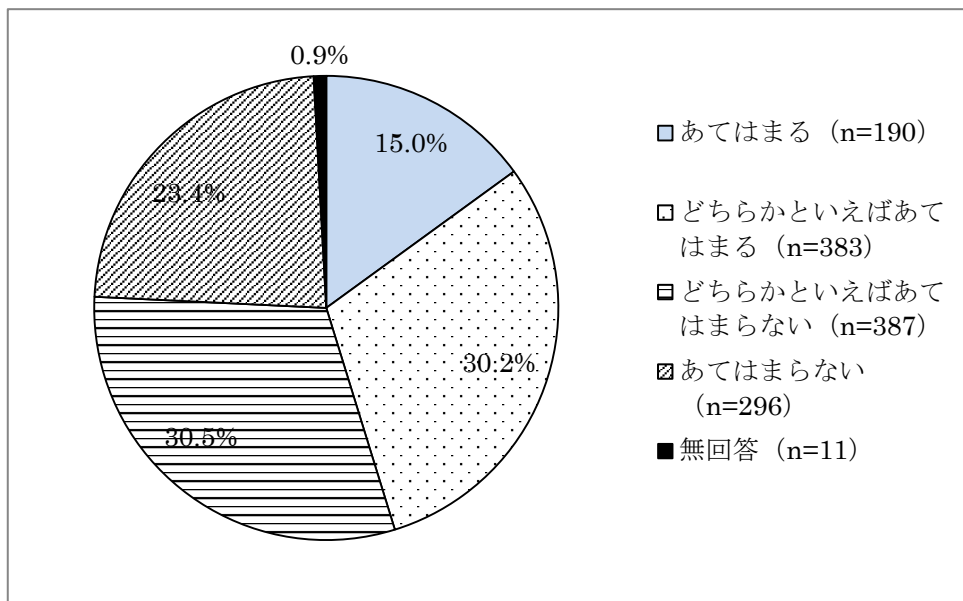


図3-1-40：キャリア形成のための転勤をすすんで受け入れる

次に「職場で、自分は将来的に期待されている」と思うかについては、図3-1-41のように、「そう思う」が9.0%と比較的低い割合となった。しかし「どちらかといえばそう思う」まで含めると、ポジティブな回答が65.9%であり、全体のおよそ3分の2となっている。このように職場において自分が期待されているかについては大多数が良い評価を得ているという認識を持っていることがわかる。

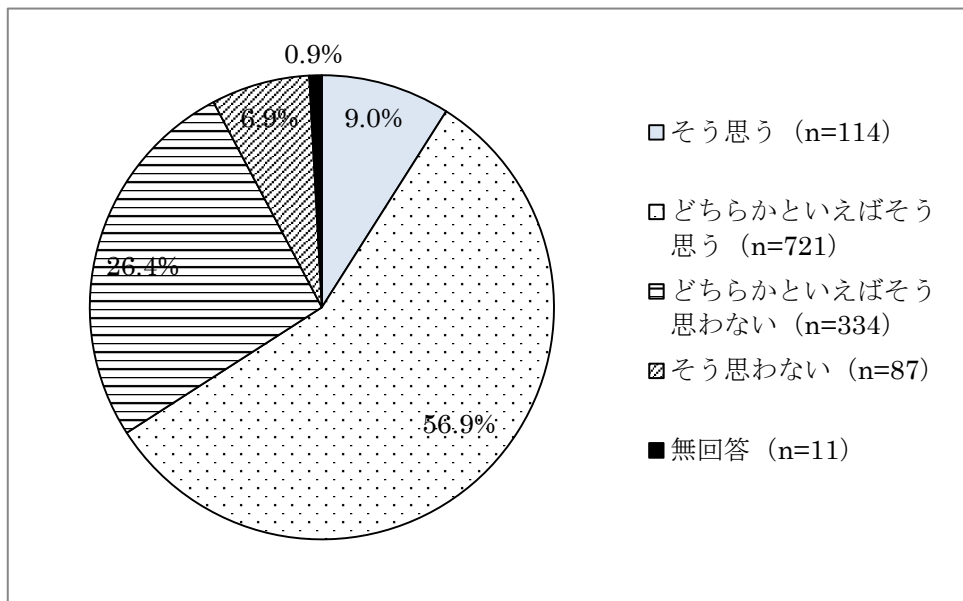


図3-1-41：職場で将来的に期待されている

今後のワークライフバランスについては、図3-1-42のように、「いまのままがよい」が29.0%であり、「いまよりも、もっと仕事を充実させたい」と「いまよりも、少し仕事を充実させたい」というワーク重視派は21.0%であるのに対して、ライフ重視派は49.2%であった。

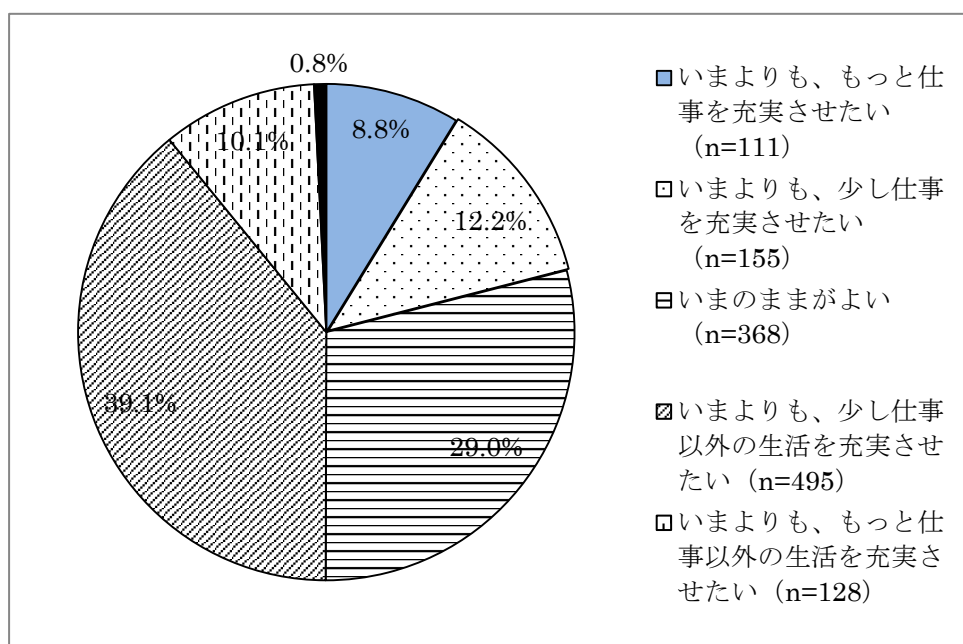


図3-1-42：今後のワークライフバランス

また「管理職として活躍したい」か、それとも「専門職として活躍したい」かについては、図3-1-43のように、管理職希望が52.0%に対して、専門職希望46.9%とほぼ半々となっている。

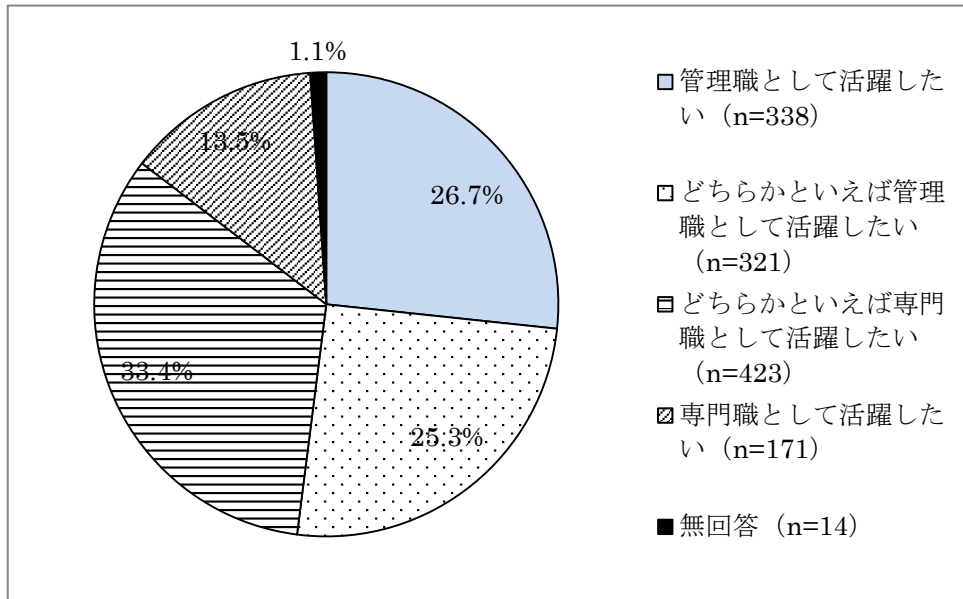


図3-1-43：管理職か専門職か